

法人名 特定非営利活動法人 アシストさいたま

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>すべての子供を笑顔に！地域で学習支援事業 (子供たちが親の収入に左右されず学習する機会を提供)</p>
<p>種類</p>	<p>(1)SDGs 推進事業(<input type="checkbox"/>人間 <input type="checkbox"/>豊かさ <input type="checkbox"/>地球 <input type="checkbox"/>平和 <input type="checkbox"/>パートナーシップ) (2)自立促進事業(<input type="checkbox"/>人間 <input type="checkbox"/>豊かさ <input type="checkbox"/>地球 <input type="checkbox"/>平和 <input type="checkbox"/>パートナーシップ)</p>
<p>1. 事業の目的</p>	<p>1) 地域の子供たちへの学習支援 2) コロナ禍で孤立した子供たちの居場所づくり 3) コロナ後の不安を抱える子供たちへの教育支援</p> <p>コロナ禍での不登校児の増加、親の賃金格差、物価高騰(学習塾、スポーツ教室などを含む)などによる児童への学習支援が行き届いていない現状を鑑み、地域事業として、すべての子供に学習する機会と笑顔を提供することが必要だと考えます。</p> <p>当団体は、コロナ禍に設立したため、大きな活動はできておりませんが、細々ながら、地域の子供たちに学習補助やスポーツの機会を提供してきました。また、障がいを持つ方を受け入れ、マイノリティーの壁を感じずにスポーツを楽しむことを子供たちに実感してもらってきました。</p> <p>コロナ禍で学力、運動能力に格差が出ているのを目の当たりにし、コロナ禍で苦しむ方々から相談を受け、地域で支援することの重要性を痛感しました。子供への支援は親への支援にも繋がり、連鎖的成果が期待できる事業です。「誰一人取り残さない」という SDGs の基本理念の実現には、子供たちに平等な教育と笑顔を提供することが一番大事だと考えます。</p> <p>放課後や長期休暇中、学校の先生や家族以外の地域の大人たちと携わることで心の居場所づくりを継続して提供していくことを目的としています。</p>
<p>2. 事業の内容</p>	<p>(1)継続的な学習支援活動</p> <p>格差が明らかな英語学習を気軽に楽しくできる機会を提供します。 楽しく学習する機会を提供することで、その後の学習の継続に繋がっていきます。</p> <p>① 実施時期 7月～2月 ② 対象者 主に小中高校生(希望によりそれ以外も受け入れます) ③ 場所 NPO 法人アシストさいたま ④ 外部協力者 地域の高校生、大学生、キッズ英語サークル ⑤ 個別に問題集などを与えず、個人の学習頻度、能力に合わせた教材を提供するために市販の問題集などを活用したり、独自の教材を作成して、支援活動を行う。</p> <p>(2)定期的なものづくりイベント開催</p> <p>何かを作り出すことは喜びに繋がります。学校の授業とは違う決められた課題のなかではなく、自由な発想でのもの創りを行う機会を提供します。 自然と笑顔があふれる時間となるはずです。</p>

- ① 実施時期 8月、10月、12月
- ② 対象者 主に小学生(希望によりそれ以外も受け入れます)
- ③ 実施場所 NPO 法人アシストさいたま
- ④ 外部協力者 地域の専門知識を持った方々、地域の学生

(3) 定期的なスポーツ教室開催

海なし県さいたまにおいて、水泳教育は大切な教育なのですが、現在のさいたま市の水泳教育は回数も少なく水泳教室などに通わなければ泳げないのが現状です。親の収入格差によることなく、誰もが泳げるようになる権利があります。定期的に水泳教室を開催し、少しでも教育格差が埋められればと考えます。

- ① 実施時期 7月、8月、9月、10月11月、(12月、1月、2月)
- ② 対象者 希望者
- ③ 実施場所 沼影市民プール(コース貸しを利用)
- ④ 外部協力者 スイムチーム ZERO

1回の開催につきプール監視員を含めて、コーチ、スタッフ約8名配置し安全を確保して開催予定。泳げない子供たちには1人につき1人のコーチを配置。

コーチ、スタッフ及びボランティアスタッフは、計5回の開催で約20名前後を予定。

募集は SNS を中心に行い、当該施設(沼影市民プール)などに協力を依頼し案内を配架。

※健常者、障がい者など関係なく、一緒に学んで一緒に共生共存できる社会になるための事業でもあります。募集は幅広く行います。

※いずれの事業も、マイノリティや世代の枠を設けずに、幅広い活動を継続的に行っていきたいと思います。

3. 実施計画

- (1) 体験学習会を実施(学習支援教室)
 地域で小学生が放課後、学習・体験できる居場所づくりを実施。
 7月中旬 体験会実施
 8月～2月 学習支援教室実施
 ※募集は SNS などで行う。
- (2) ものづくりイベント開催
 8月、10月、12月 イベント実施
 ※長期休暇中に実施予定。
 10月は学習支援教室と併せて Halloween イベントを開催。
 募集は市に後援依頼後小学校にチラシを配布。
- (3) スポーツ教室開催(水泳)
 7月、8月、9月、10月、11月に実施
 12月から2月はプールの水温が下がるため11月までとする。
 12月から2月に予備日を設ける。7月から11月のコース状況により実施。
 できない場合は予備日に実施。気温、水温により実施を検討
 ※募集は SNS などで行う。

○スケジュール

時期	
7月	スタッフ打ち合わせ ホームページ、SNSにて告知 ●学習体験会を実施 ●スポーツ教室実施(水泳) チラシ配布、各種施設に案内を配架
8月	●ものづくりイベント実施 ●学習支援教室実施 ●スポーツ教室実施(水泳) スタッフ打ち合わせ
9月	●学習支援教室実施 ●スポーツ教室実施(水泳) スタッフ打ち合わせ
10月	●学習支援教室実施(Halloween イベント) ●スポーツ教室実施(水泳) スタッフ打ち合わせ
11月	●学習支援教室実施 ●スポーツ教室実施(水泳) スタッフ打ち合わせ 小学校にチラシ配布
12月	●ものづくりイベント実施 ●学習支援教室実施 スタッフ打ち合わせ
1月	●学習支援教室実施 スタッフ打ち合わせ
2月	●学習支援教室実施 スタッフ打ち合わせ

	<p>○広報計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活動内容をホームページ、SNS で配信。 ・学習支援・体験学習は地域に住む小学校に募集チラシを配布（市に後援依頼） 公共施設に配架
<p>4. 実施体制</p>	<p>統括責任者:大倉紀子 連絡責任者:新田唯子、鳥山ひろこ 現場責任者:竹内柊輔、鳥山ひろこ 会計責任者:新田唯子 広報責任者:加藤暢浩</p>
<p>5. 事業の効果</p>	<p>① 様々な環境下にいる子供たちに居場所をつくり、学習支援をすることで、子供たちの不安や親の負担を少しでも減らすことができる。 親の収入や、障害の有無に関係なく、すべての子供が学習する機会を持つことができ、学校での勉強だけではできない気づきや、才能を発掘するきっかけ作りになる効果がある。</p> <p>② 何かを創り出すことによって喜びを得られます。自然な笑顔を生み出すことができます。自由な発想での物創りは心を育てます。 コロナ禍で不安になった心を癒す効果が期待できます。</p> <p>③ マイノリティーや世代に関係なく、一緒にスポーツに携わることで、一緒に学んで一緒に共生共存する大切さを実感します。 子供のころの経験や体験は健やかな成長を助長します。 親の収入格差によることなく、誰もが泳げるようになることにより、少しでも教育格差が埋まると思います。</p> <p>地域の学生に協力を仰ぐことで、若者の居場所作りにもなり、地域のコミュニティが出来上がり、地域全体で子供を育成していくことに繋がる効果が期待できます。</p>
<p>6. 今後どのように事業を継続し発展させるか ※自立促進事業のみ</p>	

◎応募の際に本予算書で計上しなかった経費項目は、事業実施時に支出が生じたとしても対象経費とはなりません。

別紙 2

法人名 特定非営利活動法人 アシストさいたま

事業収支予算書

1 収入の部

項目	予算額(円)	積算内訳
助成希望額 (千円未満切り捨て)	500,000 円	
自己資金	32,759 円	
事業実施による収入等		
その他		
合計	532,759 円	㊦

2 支出の部

項目	予算額(円)	積算内訳
会場費	6,600	室内プール利用料(1時間1コース660円) @660×2 時間×5 回=6,600 円
通信運搬費		
旅費交通費		
消耗品費	185,400	<p>●学習支援活動、ものづくりイベント</p> <p>用紙(コピー用紙)教材や問題をコピー @350×4=1,400 円</p> <p>ノート(連絡ノートを含む) @150×20=3,000 円</p> <p>参考書(学習支援のための参考書問題集) @2000×10=20,000 円</p> <p>プリンター(問題などを印刷、コピーするため) 35,000 円</p> <p>インク 10,000 円</p> <p>テーブル @5000×4=20,000 円</p> <p>ものづくり教室にかかる材料費 30,000 円</p> <p>(陶芸(粘土)・ハンドアート・図工(物づくり)・レジンの講座から選択)10月のHalloweenイベントのものづくり分も含む</p> <p>●スポーツ教室(水泳)</p> <p>水泳教室スタッフ、監視用 T シャツ(1回開催につきスタッフ8名前後)5回開催で、スタッフは合計20名を予定 @3300×20 枚=66,000 円</p>
備品費		
委託費	18,159	チラシ印刷(10,000 枚) 18,159 円
謝金	70,000	ものづくり教室講師料(8月、12月 1日に午前・午後開催で計4回) 5,000 円×4 回=20,000 円
		水泳教室講師 5,000 円×5 回×2 人=50,000 円

人件費	252,600	教室運営スタッフ(無給会員・無報酬役員) $1,000 \text{ 円} \times 8 \text{ 時間} \times 8 \text{ 回} \times 2 \text{ 人} = 128,000 \text{ 円}$ 企画・運営会議 $1,000 \text{ 円} \times 2 \text{ 時間} \times 8 \text{ 回} \times 4 \text{ 人} = 64,000 \text{ 円}$ 水泳教室スタッフ(無給会員・無報酬役員・当日協カスタッフ) $1,000 \text{ 円} \times 3 \text{ 時間} \times 5 \text{ 日} \times 4 \text{ 人} = 60,000 \text{ 円}$
合 計(事業費)	532,759	

収入の部の合計(㊸) = 支出の部の合計(㊹)